

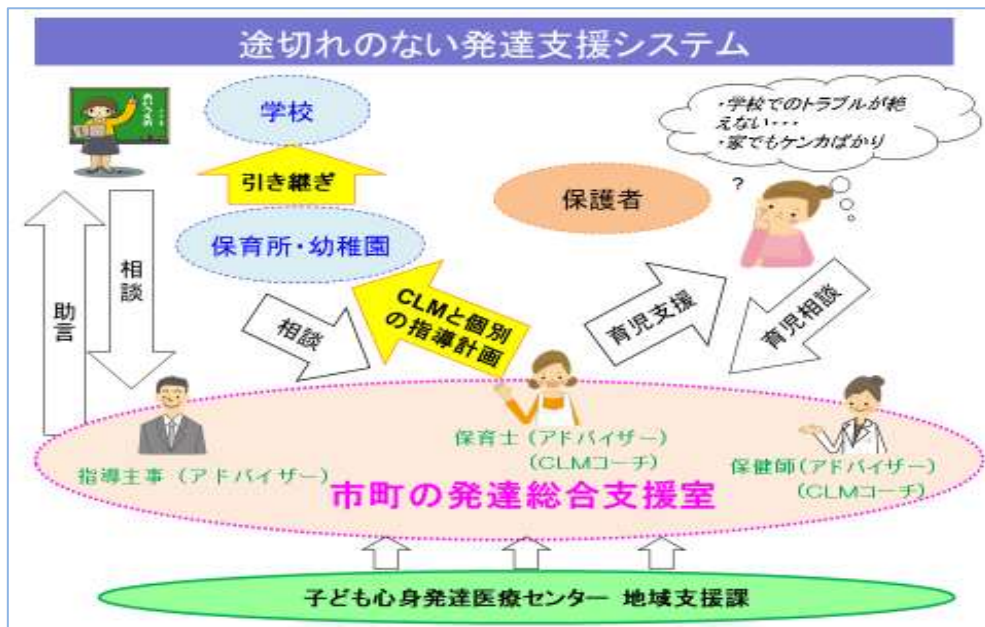
THE 市町支援通信

～三重県に生まれ育つすべての子どもに途切れのない支援を～

子ども心身発達医療センターは、途切れのない支援システムの構築を推進しています。

三重県に生まれ育つすべての子どもの発達保障・子育て支援をめざし、子ども心身発達医療センターは多くの市町と共働しながら、以下の取り組みを進めています。

- ①発達総合支援室（保健・福祉・教育の一元化室）・機能の設置
- ②「CLM（チェック・リスト・in 三重）と個別の指導計画」による保育所・幼稚園での早期発見・支援
*「CLMと個別の指導計画」は、子どもの育ちを見極め、適切な支援を行うためのツールです。
- ③みえ発達障がい支援システムアドバイザーの育成支援
- ④「CLMと個別の指導計画」専任コース研修（CLMコーチ）の育成支援



コロナに負けず、システム構築を推進中！

発達総合支援部長 山下 亨

新型コロナの感染が全国的に広がり、非常事態宣言が発出され、子どもたち、保護者、関係機関の皆様も不安な日々を過ごされていたことと思います。

当センターの途切れのない発達支援のための人材育成研修も、4月に開始して約2週間を経たところで、テレワーク研修をすることになりました。研修者は、派遣市町のご協力のもと、約1か月間「CLMと個別の指導計画」を中心に、添削指導を通して、基礎的な学びを深めました。

6月からは、当センターでの研修が再開され、「CLMと個別の指導計画」の事例検討会、外来発達療育や入院治療の実習を精力的に行い、目利き力、腕利き力の向上に努めています。

今後も、市町の皆様と共に様々な課題を乗り越え、子どもたちが健やかに成長できるようなネットワークづくりや人材育成を推進していきますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

県内の「途切れのない発達支援」の状況報告です

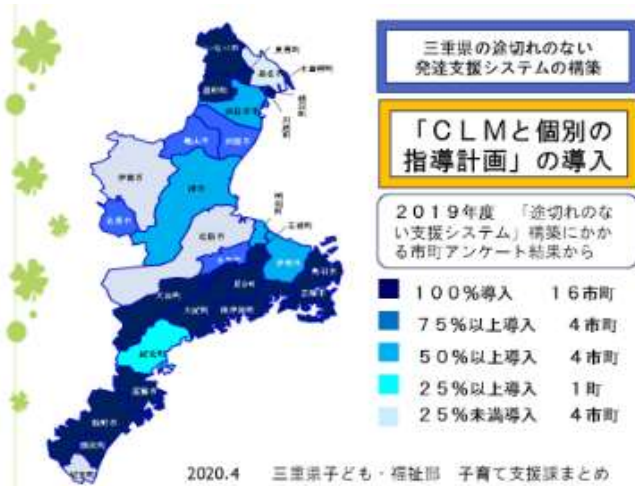
各市町の「途切れのない発達支援システム」の状況を地図で表しました。

これは、県子ども・福祉部 子育て支援課が、市町からの報告を基に 2019 年度（2020 年 3 月末）時点でまとめたものです。

①発達総合支援室（保健・福祉・教育の一元化室）・機能の設置

県内全ての市町において支援する体制は整っています（地図省略）

- ・子どもの発達支援の核となる「保健・福祉・教育」を一元化した組織は 11 市町に設置、「ネットワーク・機能」の仕組みは 18 市町に整備



②「CLMと個別の指導計画」の導入

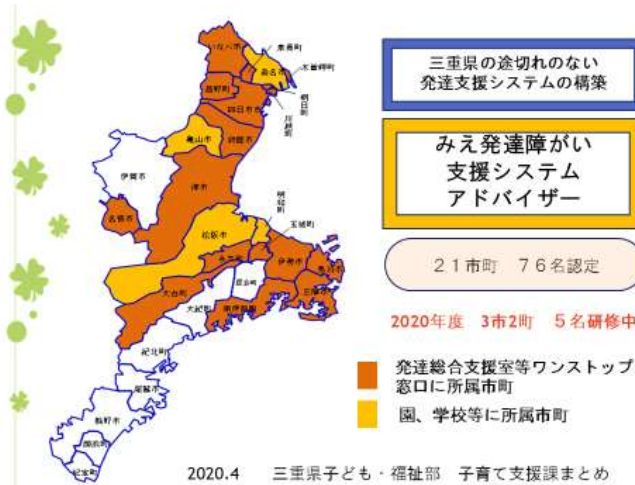
「みえ県民カビジョン・第三次行動計画（2020 (R2)年度～2023(R5)年度）」でも継続して目標設定しています。

- ・2019 年度導入実績（57.4%）
公立園 75.2%、私立園 35.4%
- ・2023 年度導入目標（67.5%）
今後も私立園の方針を尊重しつつ、改定保育指針、県民カビジョンに沿って導入を推進します。

③ みえ発達障がい支援システムアドバイザーの育成

当センターで1年間の研修を行い、各市町の「発達総合支援室」等で、発達支援の核となって活動する人材を育成します。

- ・2019 年度末で 21 市町の 76 名を認定
- ・今年度は 5 市町の 5 名が研修中



④「CLMと個別の指導計画」専任コース研修（CLMコーチ）の育成

CLMコーチ研修（約90日間）を2017年度に開始し、「CLMと個別の指導計画」導入促進を中心に行う人材を育成します。

- ・2019 年度末で 5 市町 5 名を認定
- ・今年度は 2 市町 2 名が研修中



「CLMと個別の指導計画」を使って “ぱくぱくタイム” にチャレンジ！！



Aくん 年長男児



ぱくぱくタイムとは、給食を5分間だまって食べることです

- ・給食に時間がかかる
- ・給食の時間にグループの友だち（Bくん）と食べずに喋っていて、担任が注意してもすぐに喋り出す

担任の願い

給食を時間内に食べられるようになって欲しい

4点がついたCLM項目：(3) (7) (8) (13)

クラスの様子 年長 20名

- ・明るく元気な子が多い
- ・お喋りが好きでざわざわしていることが多い



名前： Aくん

チェック項目 (8) どんな場面でもよく喋る

エピソード 給食の時間にグループの友だち（Bくん）と食べずに喋っていて、担任が注意してもすぐに喋る

- 要因
- ①特定の友だち（Bくん）と喋りたい
 - ②給食の時の約束が明確でない
 - ③モチベーションがあがらない

目標 給食のぱくぱくタイムの時、5分間だまって食べることができる

期間	具体的な指導方法		結果・評価	
8/4 ～ 8/18 2週間 10回	<p><クラス環境の整えとクラス全体の支援></p> <p><環境> ぱくぱくタイムのやくそく たいまーがなるまで（5ぶんかん）だまってたべます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約束表を掲示する ・机をスクール方式にし、全員が前を向いて食べる <p><朝の会の時></p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食の時にぱくぱくタイムをすることを伝える <p><給食の時></p> <ul style="list-style-type: none"> ・約束表を見せ、約束を守ることを伝える ・約束を守ることができたら、ごちそうさまをした後、一人ずつシールを貼ることができることを伝える <p>・「今からはぱくぱくタイムを始めます」と伝え、タイマーを5分セットしてスタートする</p> <p>・ごちそうさまをした後、一人ずつシールを貼らせてほめる</p>	<p><個別の支援></p> <p><環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aくんは担任の前の席にし、Bくんとは離す <p><給食準備の前></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別にも約束を伝える ・約束を守ることができたら、シールを貼ることができることを伝える <p>5分間はかる</p> <p>最初はスモールステップで！ 時間は次第に伸ばしていく</p> <p>・ごちそうさまをした後、Aくんにシールを貼らせてほめる</p>	<p>月</p> <p>日</p> <p>○×</p> <p>特記事項</p>	<p>前</p> <p>担任</p> <p>A</p> <p>後</p> <p>B</p>
			評価日： 8月18日(火)16:00～	

ぱくぱくタイムを取り入れたことでメリハリがつき、給食時間内に食べ終わられる子が増えました！

ぱくぱくタイムの後も楽しく食べられました！



机をスクール方式にしたことで、子どもたちは給食に集中でき、私はみんなに目が届きやすくなりました。

他の活動でも子どもたちをほめることが増えました！

市町からの使命を胸に 研修スタート!

みえ発達障がい支援システムアドバイザー研修者

子どもの笑顔が輝く療育者に
一人ひとりの課題を見極め、
発達支援のできる専門性を深めます
【いなべ市 岸本 優子】

保護者と在籍園をつなぐ
支援をコーディネートできるような
知識と技術を学びたいです
【多気町 浦口 真弓】

途切れのない支援を
保育所・幼稚園で子どもたちを育て、
学校へ引き継げるような力を高めます
【名張市 原 麻貴】

保護者に寄り添う子育て支援を
保護者のSOSに手をさしのべ、
生活を支援できるよう研修します
【菟野町 出口 裕香】

楽しい園生活が送れるように
CLMを活用して、子どもの発達が
捉えられる力を身につけます
【四日市市 小笠原 直子】

「CLMと個別の指導計画」専任コース（CLMコーチ）研修者

初代CLMコーチとして
子どもが成功体験できるツールである
CLMを推進していきます
【桑名市 鈴木 千穂】

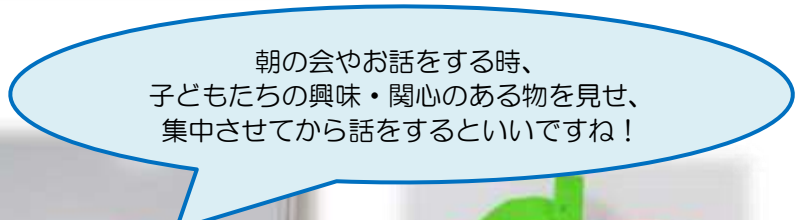
子どもが育ち合える保育を
気になる子の支援とクラスづくりを
保育者に提案できるよう頑張ります
【明和町 南 友果】



保育が楽しくなる アレコレ♪



指し棒の先に、
電車・指人形等をつける



朝の会やお話をする時、
子どもたちの興味・関心のある物を見せ、
集中させてから話をするといいですね!



パペットや手袋シアター

お知らせ 発達障がい児地域支援ネットワーク構築事業 説明会

- ・日時/場所 8月17日(月) 14:00~16:00 子ども心身発達医療センター
- ・内容 (1) ネットワーク事業について (2) 外来初診予約幼児の受診前及び受診後の支援について (3) 「CLMと個別の指導計画」の作成方法等の最新情報
- ・対象 市町の行政担当者、アドバイザー、CLMコーチ等(各市町2名まで)

<発行>令和2年 7月22日 三重県立子ども心身発達医療センター 発達総合支援部 地域支援課
〒514-0125 三重県津市大里窪田町340番5 電話番号 059-253-2000(代) FAX 059-253-2029
MAIL: childc@pref.mie.lg.jp URL: http://www.pref.mie.lg.jp/CHILDC/